

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	国語	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	現代文B	担当者	坂口 英樹、粒針 里穂		
使用教材	教科書:新訂版 精選現代文B (大修館書店)				
	教 材:新訂版 精選代文B準拠ワーク(大修館書店)				
	高校生必修語彙ノート、セレクト漢字検定(桐原書店)				
学習目標	1 文章を読み取る基盤となる語彙力を身につける。				
	2 説明的文章を通して文章全体の構成を理解し、筆者の主張を正確に読み取る。また、文 学的文章を通して登場人物の感覚や心理を追いながら作品のテーマを読み取り、自分の 意見や感想を持つ。				
	3 自分の考えや思いを他人に伝えるために必要な表現の方法を学ぶとともに、優れた表現 に触れることで自己表現力を高める。				
学習方法	1 声に出してつまづかずに読めるように練習する。読み込むと、文章全体を正確に読み取れ るようになる。授業で扱う文章をくり返し読み込むとともに、分からない語句は自分で調べる 習慣を身に付ける。				
	2 板書された内容だけでなく、大切な点や思いついたことをノートに書き留めるようにする。 文章の内容を理解するだけでなく、自分の感想や意見を持ち、表現できるようにまとめる。				
	3 漢字や語彙の小テストを単元毎に行うので、日頃から漢字の読み書きの練習や語彙問題 の練習に取り組む。特に漢字は、他人が見てもわかるように丁寧に書く習慣を身に付ける。				
必ず取り組む 最小目標	音読、語句調べ、期限内の課題提出、小テストや定期考査に向けた学習				
実現したいと 思う最大目標	様々な文章を読み、内容を正確に理解するとともに、新たなものの見方や考え方を身に付け る。また、それらを自分の日常生活や社会の動きと結びつけ、自分で考える力と表現(話す・書 く)する力を養う。				
評価の観点	次の5つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行 う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割 合は6割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向 上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうと する。		
	2 話す・聞く能力 (10 %)	…	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道 を立てて話したり的確に聞き取ったりする。		
	3 書く能力 (10 %)	…	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道 を立てて適切に文章に書く。		
	4 読む能力 (20 %)	…	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて 様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。		
	5 知識・理解 (50 %)	…	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、 漢字等を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	授業への取り組み状況(忘れ物・聞く姿勢)・提出物の有無とその		
	2 話す・聞く能力	…	授業中に考えを言葉にして発信する意欲や力・聴く態度や聞き取		
	3 書く能力	…	考えを的確に文字で表現する力・ノートのまとめ方・小テスト・定期		
	4 読む能力	…	教科書の音読・内容要約課題・小テスト・定期考査		
	5 知識・理解	…	漢字テスト・定期考査・長期休業課題テスト		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	国語	学年	3 学年	単位数	2 単位
科目名	古典B	担当者	粒針 里穂、田中 美佐枝		
使用教材	新編古典B(東京書籍)・新編古典B学習課題ノート				
	体系古典文法(数研出版)・体系古典文法準拠ノート				
学習目標	1 優れた古典文学に親しむことによって現代に通じる人間の感情や行動、ものの考え方を読み取り、自分なりの感想や考えを持つ。				
	2 基礎的な文法や語彙をさらに豊かにし、文章をより良く理解し、知識の幅を広げる。				
	3 自然・社会・人情など古典から学んだことをもとに、古人に倣って自分なりの意見や表現を発表する。				
学習方法	1 確実に読む。予習で音読・授業で速読(時間を計測し、変化を見る)を習慣化する。確実に読めることが確実な内容理解につながります。				
	2 予習として本文をノートに書き写し、授業での書き込みができるようにする。また、語句を調べて自分ですできるだけ通釈をしてみる。重要語句については練習プリントを宿題にするので、必ずやって提出すること。語彙を豊かにすることが読解力につながります。				
	3 板書は確実にノートに書くこと。板書以外でも大切だと思われることはノートに書き留めるようにすること。質問に積極的に答えるだけでなく、自分の感想や考えたことを単元毎にまとめておくとい。ノート点検の折りに優れたものを選んで発表してもらうこともあります。				
必ず取り組む最小目標	古文・漢文の読みを確実にし、作品内容を理解できる。古典の世界に興味関心を持ち、自主的に古典学習に取り組むことができる。				
実現したいと思う最大目標	文法事項を理解し、辞書を利用して本文の現代語訳ができる。時代背景・作者の考え・登場人物の心情を理解することによって、自分の考え方・感じ方を広げることができる。				
評価の観点	次の5つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は6割				
	1 関心・意欲・態度 (30 %)	…	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。(予習・提出物・道具の準備・質問や発言など)		
	2 読む能力 (20 %)	…	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取る。		
	3 知識・理解 (50 %)	…	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	授業の出席・発言、ノートや課題等の提出、道具の準備(忘れ物)		
	2 読む能力	…	音読・速読・小テスト・読解について書かれたもの・定期考査		
	3 知識・理解	…	定期考査・小テスト		

令和4年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	国語	学年	3 学年	単位数	2 単位
科目名	発展現代文	担当者	比企絢子		
使用教材	力をつける現代文 ステップ3(数研出版)、現代文単語ノート(文英堂)				
学習目標	1 国語総合、現代文で学んだ内容を基に、基礎的な国語力の充実を図る。				
	2 現代文の問題演習を行い、論理的な思考力を身につける。				
	3 1と2の目標を達成することで、意見や主張を的確に書いたり話したりする能力を養う。				
学習方法	1 日頃から、意識して語彙力の向上に努め、読解の基礎を固めるよう心がけてください。				
	2 現代文の問題を的確に読み取る力を身につけることができるよう演習に取り組んでください。				
	3 「話すこと」「書くこと」も重視します。授業時の活動や課題に意欲的に取り組むこと。積極的に学ぼうとする意欲が学習の成果に繋がります。				
必ず取り組む 最小目標	語句調べ、課題の期限内の提出、小テストや定期考査にむけた学習を進んで行き、文章を適切に読み取る力を養う。				
実現したいと 思う最大目標	分析的に読みを進める手法を学んだり、情報をまとめて報告する方法を学んだりして、「話す・聞く・読む・書く」力の総合的な力を養う。				
評価の観点	次の5つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は6割。				
	1 関心・意欲・態度 (20 %)	…	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。		
	2 話す・聞く能力 (20 %)	…	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。また、相手に共感する立場を大切にして、話を聞こうとする。		
	3 書く能力 (20 %)	…	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。また、自分の考えを適切に表現することができるようにする。		
	4 読む能力 (20 %)	…	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、自己の表現に生かす。		
	5 知識・理解 (20 %)	…	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	授業時の参加状況、プリント、ワークノートへの取り組み		
	2 話す・聞く能力	…	授業時の参加状況、プリントへの取り組み		
	3 書く能力	…	プリント、ワークノートへの取り組み、小テスト、定期考査(前期末・後期末)		
	4 読む能力	…	プリント、ワークノートへの取り組み、小テスト、定期考査(前期末・後期末)		
	5 知識・理解	…	小テスト、定期考査(前期末・後期末)		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	国語	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	国語表現	担当者	田口耕平		
使用教材	高等学校 国語表現【大修館書店】				
学習目標	1 国語総合・現代文で学んだ内容を基に、基礎的な国語力の充実を図る。				
	2 論理的な思考力を身に付けるとともに、表現技法を学び、自己表現力を高める。				
	3 1, 2の目標より、国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。				
学習方法	1 日頃から、意識して丁寧に「話す・聞く・読む・書く」ことに努めること。また、自分の意見も相手の意見も大切にしようと心がけること。				
	2 「書くこと」についての課題が多くなります。文は突然書けるようにはなりません。授業や課題を通して根気強く取り組んでください。				
	3 「話すこと」・「聞くこと」も重視します。授業時の活動や課題に意欲的に取り組むこと。積極的に学ぼうとする意欲が学習の成果に繋がります。				
必ず取り組む最小目標	言葉の力を磨き、自分の考えを適切に話したり、文にすることができるようになるとともに、相手の考えを理解し、日常生活や自己の表現に生かすことができる。				
実現したいと思う最大目標	「国語における一般常識」を確かなものとするとともに、分析的に読みを進めたり、情報をまとめて報告する方法を学んだりして、文章の整え方や書き方など人としての一般常識を習得する。				
評価の観点	次の5つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は6割。				
	1 関心・意欲・態度 (20 %)	…	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。		
	2 話す・聞く能力 (20 %)	…	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。また、相手に共感する立場を大切にして、話を聞こうとする。		
	3 書く能力 (20 %)	…	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。また、自分の考えを適切に表現することができるようにする。		
	4 読む能力 (20 %)	…	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、自己の表現に生かす。		
	5 知識・理解 (20 %)	…	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	授業時の参加状況、プリント、ワークノートへの取り組み		
	2 話す・聞く能力	…	授業時の参加状況、プリントへの取り組み		
	3 書く能力	…	プリント、ワークノートへの取り組み、小テスト、定期考査		
	4 読む能力	…	プリント、ワークノートへの取り組み、小テスト、定期考査		
	5 知識・理解	…	小テスト、定期考査		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

2023.4.3

教科名	公 民	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	政治・経済	担当者	寺嶋 優駿		
使用教材	教科書;政治・経済(東京書籍311) 資料集;最新図説 政経(浜島書店)				
学習目標	1 民主主義の重要性を理解し、政治経済に関心を持ち、主体的に社会を構成する一員としての自覚を高める。 2 現代社会の政治・経済を主体的にとらえ、環境・労働・福祉などさまざまな社会問題を考える。 3 日本や世界の諸地域で起きている諸問題に関心を寄せ、生き方を考える。				
学習方法	1 授業中最低限のルールを守ること。(1)私語をしない(2)チャイム前着席・授業の準備を忘れない(3)ノートやプリントの記載は丁寧に書く(4)ノートには、メモ、まとめ、感想や意見を記入する 2 授業を大切にすること。(1)説明・質問・注意をよく聞く(2)教科書・課題を熟読する(3)プリント・資料を活用する(4)授業の内容について自分でまとめ、課題を発見し意見を論理的に表現する 3 家庭学習を続けること。(1)日常の家庭学習課題へまじめに取り組む(2)2週間前には考查前の復習をはじめる(3)夏季・冬季休業中の重点課題も頑張る(必ず提出。提出しないと評価が大きく下がる)				
必ず取り組む最小目標	生徒としての最低限の義務を果たす(1)出席する(2)私語・居眠りをしない(3)チャイム前着席・授業の準備を忘れない(4)ノートやプリントの記入は丁寧に				
実現したいと思う最大目標	生徒としての義務をクリアするばかりではなく、積極的に学習し現代社会の諸問題を深く考察する(1)プロセスを重視(2)調べ学習(3)表現力(4)冷静で公正な態度(5)コミュニケーション能力				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考查の割合は概ね8割。 1 関心・意欲・態度 … (30 %) (1)学習対象に対する関心を高め、課題を意欲的に追究しているか。 (2)民主的、平和的なよりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付けることができているか。 (3)自己の生き方を主体的に選び取り、意義ある人生を送ることへの自覚を深めようとしているか。 2 思考・判断・表現 … (20 %) (1)現代の社会と人間にかかわる事柄や課題を見いだしているか。 (2)現代社会の諸問題の本質や民主政治の本質などについての考察をしているか。 (3)人間の存在や価値など倫理的な考察をしているか。 (4)社会の変化や様々な考え方があることを考慮して判断して、適切に表現しているか。 3 資料活用の技能 … (20 %) (1)諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択・活用しているか。 4 知識・理解 … (30 %) (1)基本的な事項について、理解をしているか。 (2)理解した内容を生きて働く知識として自らの中で体系化し、身に付けることができているか。 ●毎時間、上の4観点のいずれかを評価する。				
評価の方法	1 関心・意欲・態度 … 建設的な意見の表明、小テスト、ノート・レポートなどの課題提出 2 思考・判断・表現 … 考查、日常の授業でのレポート、夏・冬の課題(提出しないと評価が大きく下がることになる) 3 資料活用の技能 … 考查、ノート・レポート・課題の提出 4 知識・理解 … 考查、課題提出、小テスト、振り返り 中間・期末考查、レポートなどによる。平常点は、出席状況、授業態度、レポート、小テスト、ノート提出等による。テストの点数をベースにして平常点を加味する。				

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	地歴・公民	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	地理研究	担当者	辻 眞		
使用教材	新詳地理B（帝国書院）				
	新詳高等地図（帝国書院）				
	新詳地理資料COMPLETE 2021(帝国書院)				
学習目標	1 今日の世界や住んでいる地域の諸課題を考察し地理的認識力を養うとともに、社会人として必要な地理的知識・見方や考え方を培い、地域社会に主体的に判断し行動する能力を育成する。				
	2 地理A・Bの復習と問題演習により現代世界の地理的認識を深め、知識の定着と思考力・判断力を養う。				
	3 入試問題で高得点がとるための基礎力を身につける。				
学習方法	1 地理Bの構成内容で、各単元・項目ごとに整理したプリントを使用し講義を中心としながら進めていく。				
	2 教科書・地図帳・資料集などから、図表・地図・統計を多角的に用いることにより内容を深める。				
	3 入試問題を取り上げ、解法についての解説をする。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は7割。				
	1 関心・意欲・態度	…	地理学習に関心を持ち、授業に積極的に参加したか。地理的見方・考え方をよく理解し、積極的に活用しようとしたか。		
	2 思考・判断	…	位置・空間の認識、他地域との比較・関連、地域性とその成立条件について思考・判断することができたか。		
	3 資料活用の技能・表現	…	図表・地図・統計から必要な情報を読み取るとともに、統計資料を用いて地図などで表現することができたか。		
	4 知識・理解	…	地理の基本概念・知識を習得し、現代世界を地理的に認識・理解できる力＝世界観が身に付いたか。		
評価の方法		学習状況観察	学習プリント	課題・レポート	定期考査・確認テスト
	1 関心・意欲・態度	◎	◎	○	—
	2 思考・判断	—	○	◎	○
	3 資料活用の技能・表現	—	○	○	◎
	4 知識・理解	—	○	—	◎

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	地歴・公民	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	日本史研究	担当者	鶴 身 幸 一		
使用教材	高等学校 日本史B 最新版（清水書院）				
	図説 日本史通覧(帝国書院)				
学習目標	1 日本の近現代の歴史を政治・経済・社会など総合的に理解するとともに、歴史的思考力を培う。				
	2 日本史Bで学んだ内容についての理解を深めるとともに、知識の定着を図る。				
学習方法	1 政治・経済史を主体として講義を中心としながら、各種資料や歴史地図なども用いて作業も行う。				
	2 日本史Bで学んだ内容も含めて、問題演習を行う。				
	3 課題を課すことによって、家庭学習を定着させる。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は7割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。		
	2 思考・判断 (10 %)	…	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。		
	3 資料活用の技能・表現 (10 %)	…	諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的・地理的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。		
	4 知識・理解 (70 %)	…	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度 … 授業中における質疑応答、ノート提出、				
	2 思考・判断 … 定期考査、小テスト				
	3 資料活用の技能・表現 … 定期考査、ノート提出				
	4 知識・理解 … 定期考査、小テスト				

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	地 理 歴 史	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	日本史B	担当者	杉村 峰行		
使用教材	高等学校 日本史B 新訂版 (清水書院) 図説 日本史通覧(帝国書院)				
学習目標	1 日本の歴史を政治・経済・社会など総合的に理解します。 2 歴史を学ぶことで、現代の社会的事象に興味がわくように努めます。 3 史料や絵画の利用して、歴史を身近なものとして感じられるようにします。				
学習方法	1 授業中最低限のルールを守ること。①私語をしない②チャイム前の着席・授業の準備を忘れない③ノート(板書・メモ・まとめ・感想)やプリントを丁寧に書く。 2 授業を大切にすること。①説明・質問・注意をよく聞く、②教科書を熟読する、③プリントを活用する 3 家庭学習を続けること。①日常的に復習(教科書の音読)をすること、②考査前には特に復習に力を入れる				
必ず取り組む最小目標					
実現したいと思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は7割。 1 関心・意欲・態度 … 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。自分の思考を意見する機会を重視する。 (10 %) 2 思考・判断 … 歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。 (10 %) 3 資料活用 of 技能・表現 … 諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的・地理的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。 (10 %) 4 知識・理解 … 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 (70 %)				
評価の方法	1 関心・意欲・態度 … 授業中における質疑応答、ノート提出、定期考査 2 思考・判断 … 定期考査、小テスト、授業時の発問、プリント等 3 資料活用 of 技能・表現 … 定期考査、ノート提出、資料解釈 4 知識・理解 … 定期考査、小テスト、プリント等				

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	数 学	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	数学Ⅲ（選択2）	担当者	菅野 和明		
使用教材	改訂版 新編 数学Ⅲ（数研出版）				
	改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅲ				
学習目標	1 数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				
	2 微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。				
	3 積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。				
学習方法	1 授業ではノートきちんとまとめ、プリント等の配布物をきちんと提出し、積極的に授業に取り組むよう努力すること。				
	2 数学は積み重ねが大切な教科なので、宿題＋小テストに毎回取り組み、副教材などで繰り返し復習し実力を高めていくこと。				
	3 長期休業中は、それまで学習したことをしっかり復習すること。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は8割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	数学的活動を通して、極限、微分法及び積分法における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。		
	2 数学的な見方や考え方 (30 %)	…	数学的活動を通して、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。		
	3 表現・処理 (30 %)	…	極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。		
	4 知識・理解 (30 %)	…	極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	学習活動への取り組み	宿題やノート、提出物の状況。	
	2 数学的な見方や考え方	…	定期考査	提出ノートの内容	
	3 表現・処理	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	
	4 知識・理解	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	数 学	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	数学Ⅲ（選択3）	担当者	石黒 雄佑		
使用教材	新編 数学Ⅲ （数研出版）				
	教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅲ				
学習目標	1 複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				
	2 平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				
	3 簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。				
学習方法	1 授業ではノートきちんとまとめ、プリント等の配布物をきちんと提出し、積極的に授業に取り組むよう努力すること。				
	2 数学は積み重ねが大切な教科なので、宿題＋小テストに毎回取り組み、副教材などで繰り返し復習し実力を高めていくこと。				
	3 長期休業中は、それまで学習したことをしっかり復習すること。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は8割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。		
	2 数学的な見方や考え方 (30 %)	…	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。		
	3 表現・処理 (30 %)	…	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。		
	4 知識・理解 (30 %)	…	数学における基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	学習活動への取り組み	宿題やノート、提出物の状況。	
	2 数学的な見方や考え方	…	定期考査	提出ノートの内容	
	3 表現・処理	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	
	4 知識・理解	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	数 学	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	実 用 数 学	担当者	女鹿 一洋		
使用教材	完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング				
	プリント教材				
学習目標	1 数学の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				
	2 既習分野の数学Ⅰ・数学Aの復習をすることで、数学的な考え方の必要性を理解する。				
	3 基礎的な数学の知識と技能を修得させる。				
学習方法	1 数や式に関する基礎的な計算演習をする。また、既習分野の数学Ⅰ・数学Aの復習をする。				
	2 「生徒自ら問題を解く」ことを重視し、それを発表することで、お互いの理解度を高めていく。				
	3 プリント学習や課題・宿題を通して、自ら学習する積極的な態度が必要となる。				
必ず取り組む 最小目標	数学的な活動を通して、数学の良さを認識できるようにする。				
実現したいと 思う最大目標	数学的な活動を通して、事象を数学的・論理的に考察し、それらを活用できるようにする。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は8割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。		
	2 数学的な見方や考え方 (30 %)	…	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。		
	3 表現・処理 (30 %)	…	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。		
	4 知識・理解 (30 %)	…	数学における基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	学習活動への取り組み	宿題やノート、提出物の状況。	
	2 数学的な見方や考え方	…	定期考査	提出ノートの内容	
	3 表現・処理	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	
	4 知識・理解	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	数 学	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	数学研究Ⅰ（選択3）	担当者	持田裕孝		
使用教材	2024 短期集中ゼミ 看護・医療系のための数学Ⅰ＋A				
	改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） ， 改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版）				
	改訂版 3TRIAL 数学Ⅰ＋A（数研出版編集部）				
学習目標	1 既習分野の数学Ⅰ・Aの復習をすることで、数学的な考え方の必要性を理解する。				
	2 過去の看護学校の入試問題や大学入学共通テストの問題演習を通して、知能と技能を修得させる。				
学習方法	1 既習分野の数学Ⅰ・Aの復習をし、看護学校の入試問題や大学入学共通テストの問題演習をする。				
	2 「生徒自ら問題を解く」ことを重視し、それを発表することで、お互いの理解度を高めていく。				
	3 プリント学習や課題・宿題を通して、自ら学習する積極的な態度が必要となる。				
必ず取り組む最小目標	数学的な活動を通して、数学の良さを認識できるようにする。				
実現したいと思う最大目標	数学的な活動を通して、事象を数学的・論理的に考察し、それらを活用できるようにする。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は9割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。		
	2 数学的な見方や考え方 (30 %)	…	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。		
	3 表現・処理 (30 %)	…	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。		
	4 知識・理解 (30 %)	…	数学における基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	学習活動への取り組み	宿題やノート、提出物の状況。	
	2 数学的な見方や考え方	…	定期考査	提出ノートの内容	
	3 表現・処理	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	
	4 知識・理解	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	数 学	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	数学研究Ⅱ	担当者	菅野 和明		
使用教材	改訂版 大学入学共通テスト対策／基本と演習 数学Ⅰ・A＋Ⅱ・B 標準演習PLAN100				
	プリント教材				
学習目標	1 既習分野全てを復習をすることで、数学的な考え方の必要性を理解する。				
	2 過去の共通テスト問題の演習を通して、知識と技能を修得させる。				
	3				
学習方法	1 「生徒自ら問題を解く」ことを重視し、それを発表することで、お互いの理解度を高めていく。				
	2 プリント学習や課題・宿題を通して、自ら学習する積極的な態度が必要となる。				
	3 公式や定理がどのように使われるか確認しながら学習する。				
必ず取り組む 最小目標	数学的な活動を通して、数学の良さを認識できるようにする。				
実現したいと 思う最大目標	数学的な活動を通して、事象を数学的・論理的に考察し、それらを活用できるようにする。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は9割。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。		
	2 数学的な見方や考え方 (30 %)	…	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。		
	3 表現・処理 (30 %)	…	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。		
	4 知識・理解 (30 %)	…	数学における基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	学習活動への取り組み	宿題やノート、提出物の状況。	
	2 数学的な見方や考え方	…	定期考査	提出ノートの内容	
	3 表現・処理	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	
	4 知識・理解	…	定期考査	宿題＋小テストの状況	